

# 令和7年度 宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校(定時制) 【自己評価及び学校関係者評価】

《 4段階評価 4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要する 》

教育目標 1, 知徳体の調和のとれた人材の育成を目指す。 2, 校訓「正義」「寛容」「実行」を具現化し、21世紀を担う人材の育成を目指す。								
重点目標	評価項目	計画(Plan)	実行(Do)	評価(Check)		改善(Action)	学校関係者評価	
		重点努力目標(評価指標)	方策・手立て(数値目標)	学校自己評価	総合	結果と考察・改善	評価 評価コメント (評価できる点、改善して欲しい点)	
基礎学力の定着	基礎・基本の定着	①「面白くするために生徒が感じる双方向的な授業」を創造する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参観週間の計画運営と職員研修(ICT活用含む)の充実を図る。</li> <li>基礎学力テストを計画的に実施し、生徒の実態を把握するとともに、指導の指針を共有する。</li> <li>ICT教材の活用により、効率的で五感にうったえる授業を実践する。</li> </ul>	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力テストは実施から成績処理、成績上位者の表彰までを計画的に行い、生徒の実態把握にもつながった。授業参観週間は昨年度と同程度の22名の保護者等の参加があった。</li> <li>ICTの職員研修を2回実施できた。教科総合訪問においても、各教科ともにICTを使って内容を工夫していた。さらに深化を図りたい。</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎・基本の定着については、少人数指導や個別対応などの取組みが継続されている点は評価できるものの、生徒の学力差が大きい中で、取組の成果がどの程度学力向上につながっているかについては十分な検証が必要である。到達度の把握や指導方法の改善をより組織的に進めることが求められる。(同内容の評価1件)</li> <li>帰国・外国人の生徒への対応AIを活用して対応できないか、また、宗教の対応等によっては食事・お祈り関係を先生方以外に、生徒にも共有して欲しい。</li> </ul>
		②個別指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>考査前指導を年4回計画し実施する。</li> <li>夏季講座として全職員が一人1講座を開設し、生徒の意欲喚起と学力の定着を図る。</li> <li>奨学金等の情報提供を確実に行う。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>考査前指導は適切に運営できた。夏季講座は多くの生徒(延べ78名)が申込み、参加した生徒は熱心に取り組んだ。来年度も状況に応じて適宜実施したい。</li> <li>ホームページも活用し、学生支援機構予約奨学金等の情報提供や推薦事務を適切に行った。また定時制特有の就学奨励資金等(就業条件あり)に3名を申請し利用させることができた。</li> </ul>		
		③修学意欲の高揚を図る。 ・欠席・遅刻等の防止 ・欠点者の減少 ・単位の確実な修得	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入生在校生オリエンテーションを計画し、スムーズな年度のスタートを支援する。</li> <li>考査前指導を年4回計画し実施する。</li> <li>授業に関する集会を実施して現状を生徒に伝え、今後の見通しを立てるとともにテスト後の指導の充実を図る。</li> <li>単位未修得を防ぐための考査後指導を充実させる。</li> <li>定通併修生への履修を支援する。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>オリエンテーションにおいて単位の履修修得についての説明を行い、学習計画の充実を図った。</li> <li>個別指導や学習に関する集会を通して各自の現状を確認させることで、学習意欲の喚起につなげることができた。今後も計画的に実施していきたい。</li> <li>定通併修生に対しては、宮崎東通信制と連携して情報提供や連絡指導を確実に行った。</li> </ul>		
		④検定指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全生徒に対して検定試験の案内を行い、受験生に対しては課外等を実施して指導する。</li> <li>商業科全生徒に、最低年1回の検定受験を推進し、これを基に授業に対する向上心を育てる。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も普通科の生徒の受験があった。来年度においても検定試験の案内や指導を積極的にを行いながら、生徒の検定試験への意欲を高めていきたい。</li> <li>各検定試験において、ほとんどの生徒が合格することができた。また、授業で行っていない検定試験においても受験者があるなど全体的に意欲的に取り組めた。</li> </ul>		
人権感覚、豊かな心の育成	規範意識の向上と生徒指導	①職員の共通理解と共通実践を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒情報交換会を開き、生徒一人一人について職員間で共通理解を図り、全職員で生徒指導にあたる。</li> <li>学年会を週1回の定例会とし、情報共有と職員間の連携を図る。</li> </ul>	3.0	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒情報交換会や学年会と連携し、気になる生徒の情報共有が全職員間で図れており、適切に指導することができた。</li> <li>対人関係作りや公共の場でのマナーなど日常での生活指導を必要とする生徒が多いので今後とも全職員で情報を共有し、同じ方向性を持って根気強く指導していきたい。</li> </ul>	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>規範意識の向上と生徒指導については、教職員による丁寧な対応により大きな問題は見られないものの、遅刻や生活習慣の乱れなどの課題が依然として見受けられる。早期対応や組織的な指導体制をさらに強化するとともに、生徒が自ら規範意識を高められるような指導の工夫が必要である。</li> <li>種々のツール(会議)を使用して、細やかな指導がされている。</li> <li>教職員による丁寧な対応は評価できる。</li> </ul>
		②基本的な生活習慣の確立を図る。 ・挨拶の励行 ・規律・マナーの厳守	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の声かけや集会時での指導、登下校指導、放課後の巡回指導、交通安全教室を実施し、マナーや交通安全の意識高揚を図る。</li> <li>授業開始と終了の号令・挨拶を定着させ、休憩時間との切替や授業に集中する習慣を身につけさせる。</li> </ul>	2.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>軽微な交通事故がいくつか発生し、報告されている。バイク二人乗りの法令違反も1件あり、特別指導を行った。交通安全教室や通学生集会で交通ルールの順守を呼びかけているが、日常でも登下校指導をおこない大きな事故が起らないよう、継続して指導に当たるように努めたい。</li> <li>集会時の態度や日頃の挨拶などは概ねよくできている。</li> </ul>		
		③自主性・積極性のある生徒を育てる。 ・生徒会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種学校行事に対して積極的な参加を呼びかけ、生徒が自主的に企画・運営ができるように支援する。(各種委員会を含む生徒会活動の活性化)</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>少数精鋭の生徒会が中心となって各種行事に取り組んでいる。生徒総会で意見の出た「職員の名札着用」と「冬季のエアコンの利用」が可決実現した。</li> <li>各種委員会でもポスターを作成するなど積極的に取り組んでいる。</li> </ul>		
		④環境美化意識の高揚を図る。 ・清掃の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃の出欠を取り、学校生活の基本的な活動としての位置づけを図る。</li> <li>また、本年度も清掃分担表・監督表を作成し、職員の清掃指導の共通理解と実践に努める。</li> <li>職員が率先垂範して環境美化に努め、学習環境の重要性やゴミの分別・持ち帰りの指導を行う。</li> <li>事務部と連携して、学習環境の改善に努める。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>クラスの人数など考慮して、清掃分担表・監督表を作成して週2回の清掃指導を実施することが出来た。</li> <li>週2回の清掃活動を概ね実行することができた。</li> <li>美化委員会を招集してゴミの減量・ゴミの分別・持ち帰りを呼びかけて実施することが出来た。</li> <li>事務部と連携して学習環境の改善に努めることが出来た。</li> </ul>		
		⑤道徳教育、人権教育、特別支援教育、教育相談を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒情報交換会を年間6回開催し、生徒情報を共有するとともに 職員の連携と組織的な対応を図る。</li> <li>教育相談係とハートサポーターを中心に教育相談週間を実施し生徒一人ひとりの変化を見逃さないように努める。</li> <li>いじめに関する対応の強化として、いじめ不登校対策委員会を開催すると共に、職員への共通理解を図る。</li> <li>特別支援を必要とする生徒に対して、関係諸機関との連携を図り、効果的な支援を実践する。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在まで、生徒情報交換会(全6回)と教育相談委員会(全12回)は年間計画に沿って全て実施できており、生徒情報の共有や職員間の連携に大いに役立っている。</li> <li>SSWやSC、教育相談係とハートサポーター、生徒指導部、学級担任及び必要な諸関係機関と連携しながら、生徒との相談を丁寧に行うことができた。</li> <li>今年度、これまでに2件のいじめ案件が認知されている。2件とも、いじめ不登校対策委員会で審議し組織的・適切に対応して、謝罪と解決にいたっている。今後も継続して生徒への声かけをこまめに行い、再発防止と新規案件の発生予防に努めたい。</li> <li>特別支援が必要とされる生徒の対応・支援については、中学校や前籍校などからも情報を収集し、必要な支援を見極めながら個に応じた支援をおこなうことができた。</li> </ul>		
		⑥健康安全教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒全員に定期健康診断を受けさせる。</li> <li>職員対象の救急救命法の研修会に生徒(希望者)も参加させて早期に実施し緊急事態の対応に努める。</li> <li>薬物乱用防止教室を実施して生徒に薬物乱用の危険性を認識させる。</li> <li>防災訓練を年2回実施して職員・生徒への意識を高める。特に、夜間の非常時に備え、懐中電灯を使って避難することの重要性を生徒に意識させる。また、ストーブの安全な使用について、生徒への指導を徹底して行う。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断は生徒全員が受診することが出来た。</li> <li>救急救命法の職員研修は、消防本部から救急隊員を講師に招いて早期に実施できた。生徒の参加希望者はなかった。</li> <li>都城警察署に依頼して、早期に危険ドラッグに関する講演を実施できた。</li> <li>防災訓練は5月と10月の2回実施することができた。消防設備業者による消火設備・消火器の使用についての指導を受けることができた。</li> <li>懐中電灯の定期点検を実施することができた。</li> <li>本年度からエアコン暖房となったために、ストーブは使用しなかった。</li> </ul>		
進路指導の充実	進路指導の充実	①キャリア教育を充実させることにより、進路意識の高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>4年間を見通した学年進行のプログラムを作成し、各学級担任と連携してLHR時に実施する。</li> <li>都城市内の企業等から講師を招聘し、講義形式やグループ討議形式で「職業講話」を実施する。(全学年)</li> <li>進学ガイダンスや就職ガイダンスへの参加を促し、進路選択に寄与する。(全学年)</li> </ul>	3.0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>統一LHRの内容や時期を見直し、月曜以外に実施していた進路行事もLHRに組み込むことができた。来年度もより効果的な内容や時期等を検討していきたい。</li> <li>都城地区の企業の協力をいただき毎年2回実施しているが、今年度は日程が合わず1回の分を年明けに計画している。生徒にとって重要な進路行事であるため、来年度以降も続けていきたい。</li> <li>今年度も各種校外ガイダンスの情報を学年間問わず数多く提供できた。オープンキャンパスも含めて積極的に参加する生徒も見られた。</li> </ul>	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導の充実については、個別相談や進路情報の提供などの取組は行われているが、生徒の進路意識の形成や社会的な自立への具体的な見直しにつながっているかについては引き続き課題が残る。</li> <li>低学年からの体系的なキャリア教育や関係機関との連携を強化し、より実効性のある進路支援体制の構築が望まれる。(同内容の評価1件)</li> </ul>
		②進路情報の積極的な提供に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>みやこんジョブガイド」や「高卒WEB求人」、「Handy進路指導室」など求人情報や進学に関する情報を各クラスに適宜提供する。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も統一LHRに組み込み、全学年の生徒が活用できる状況にはしている。ただ、生徒自らが授業以外の時間にも活用して、卒業後の就職について意識するよう働きかけていきたい。</li> </ul>		
		③企業との連携を図る。(就労状況アンケート・企業訪問等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労状況アンケートや電話連絡、企業訪問等を行い、生徒の就労状況と職場環境を把握し、学業との両立を支援する。また本校の魅力発信して求人の開拓に努める。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度から始めた就労状況アンケートを、Googleフォームでも回答できるようにした。FAXでの返信が減り、回収率も上がった。電話連絡や企業訪問の必要があまりそうなる返信もなく、生徒たちが頑張っている様子が窺えた。</li> </ul>		
		④教育振興会や関係機関との緊密な連携に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTA・教育振興会・同窓会・都城北ロータリークラブ・ふるさと育成協議会等と緊密な連携をはかり、各種の学校行事に積極的に参加してもらうようにする。</li> </ul>	3.0		<ul style="list-style-type: none"> <li>各種学校行事に可能な限りご参加いただき、本校生徒の様子を見ていただくことができた。今後も多くの方に来校いただきたい。</li> <li>都城北ロータリークラブのご協力により、地元の前輩方との懇談の機会をいただき、生徒たちが卒業後の人生について考える大切な時間となった。</li> <li>教育振興会の新規会員を募るために、会の説明やPRをする機会をいただけた。</li> </ul>		